

報道関係者各位

新聞・テレビ・ラジオ・インターネット

7月24日(金)4:00以降(新聞は朝刊以降)に使用願います。

2015年7月23日  
株式会社かんぽ生命保険

**企業広告『人生は、夢だらけ。』第3弾！！**  
**新テレビCMを2015年7月27日(月)から放送開始**  
**短編Webムービーも同日公開！！**

株式会社かんぽ生命保険(東京都千代田区、取締役兼代表執行役社長 石井雅実、以下「かんぽ生命」)は、メインキャラクターに能年玲奈さん、共演者に滝藤賢一さんを起用した、『人生は、夢だらけ。』をキャッチコピーとする企業広告第3弾(新テレビCM「人生の山と谷」篇/「夢の中へ」篇(ともに15秒・30秒)、グラフィック広告、首都圏・関西圏の電車広告・屋外広告、Webサイトを)、2015年7月27日(月)から全国で展開いたします。

また、Webサイトでは短編Webムービー『人生は、夢だらけ?』(前編)を新テレビCMと同時に公開します。

これらのテレビCMや短編Webムービーは、お客さま、社会、地域のみなさまの人生を、より身近な存在として支えていきたいという、かんぽ生命の想いを表現したものです。

人生は、  
夢だらけ?



【報道関係の方のお問い合わせ先】

株式会社かんぽ生命保険

広報部

電話：03-3504-4418(直通)

FAX：03-3506-0944

## ■新テレビCMについて

---

かんぽ生命では、『人生は、夢だらけ。』というキャッチコピーで、前向きに生きるすべての人を応援する企業CMを2014年2月から展開しています。

今回はCMキャラクターとして、『人生は、夢だらけ。』シリーズの顔である女優の能年玲奈さんに加え、新たに俳優の滝藤賢一さん、アイドルユニット「ベイビーレイズ」で活躍する高見奈央さんが登場。CMソングには、井上陽水さんの『夢の中へ』を採用しました。

「人生の山と谷」篇では、人生で遭遇する喜びや悲しみを山と谷に喩え、人生の谷で思い悩む能年さんにさまざまなアドバイスを送る執事役を滝藤さんが、能年さんの友達役を高見さんが演じています。

「あなたの人生は、間違いなくあなたのものだ」という執事の言葉から、自分の人生を深く考え始める能年さんの姿を描いています。

「夢の中へ」篇では、「迷ったら面白いほうを選べばいいのではないのでしょうか？」という執事の言葉をきっかけに、思い切ってミュージカルに挑戦することで人生の谷から抜け出していく能年さんを描いています。

## ■短編Webムービーについて

---

主人公の能年さんと、滝藤さん演じる執事を中心に繰り広げられるドラマ仕立てのストーリー。テレビCMでは見られないシーンをふんだんに盛り込み、「人生の山と谷は交互にやってくる」「迷ったら面白いほうへ」など示唆に富む数々のセリフとともに、“夢だらけ”な人生に向けて歩き始める主人公の姿を描いていきます。『人生は、夢だらけ。』キャンペーンサイト内にて、前編・後編を順次公開予定です。

## ■新テレビCM「人生の山と谷」篇（30秒）ストーリーボード



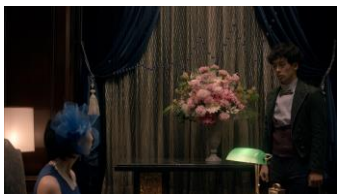
(タイトル)  
人生は、夢だらけ? 予告編



(滝藤さん)  
「人生には、山と谷があり、」



(滝藤さん)  
「いいことも、悪いことも、」



(滝藤さん)  
「代わる代わるやってくるということです。」



(タイトル)  
主題歌「夢の中へ」井上陽水  
(能年さん)  
「私の人生は、」



(滝藤さん)  
「間違いなく、あなたのものだ。」



主演 能年玲奈  
(タイトル)主演 能年玲奈  
(能年さん)「教えてください、私、どうすれば？」



(タイトル)  
人はいつでも、たぶん何かを探してる。  
(能年さん)  
「探し物はまだ見つかっていません。」



(能年さん)  
「だけど、人生は、夢だらけなのです。」  
(タイトル)  
人生は、夢だらけ。



(ロゴ)  
かんぼ生命

## ■新テレビCM「夢の中へ」篇（30秒）ストーリーボード



(能年さん)  
「私今、悩んじゃってます。」



(滝藤さん)  
「迷ったら、面白いほうを  
選ばばいいんじゃないでしょうか？」



(滝藤さん)  
「動くことはリスクです。」



(能年さん)  
「私一度ミュージカル、  
やってみたかったんです！」



(タイトル)  
「人生は、夢だらけ？」



(能年さん)  
「だって、人生は一度きりなのだ。」  
(タイトル)  
人生は、夢だらけ。



(滝藤さん)  
「動かないこともリスクです。」



(ロゴ)  
かんぽ生命



(能年さん)  
「どっちだよ？」

## ■グラフィック広告について

---

メインビジュアルは、テレビCMと連動した能年玲奈さん、滝藤賢一さんのカットに加え、企業広告『人生は、夢だらけ。』シリーズのカット数点を使用。その他、数種類のグラフィック広告を、2015年7月27日より全国の郵便局、首都圏・関西圏の電車広告・屋外広告、Web広告にて大々的に展開していきます。



## ■Webサイトについて

---

キャンペーンサイトでは、テレビCM、短編ムービー、各種グラフィックなど、キャンペーンを網羅的に展開していきます。

キャンペーンサイトURL

<http://www.yumedarake.jp>

※7月27日（月）AM10時公開予定

## ■主題歌について

---

テレビCMと短編Webムービーの主題歌には、井上陽水さんの『夢の中へ』を起用しました。「探し物はなんですか？」から始まる歌詞は、“夢だらけ、な人生のヒントを探し続ける能年さんの姿とリンクし、より一層、映像の世界感を盛り上げています。

主題歌：『夢の中へ』 歌：井上陽水

## ■出演者プロフィール

---



能年 玲奈（のうねん れな）さん

1993年7月13日、兵庫県生まれ。

2006年、第10回ニコラモデルオーディションでグランプリを受賞しデビュー。

2010年までレギュラーモデルを務める。

女優として映画「告白」（'10 中島哲也監督 東宝）でデビュー。

その後、テレビドラマでは「高校生レストラン」（'11 NTV）、「鍵のかかった部屋」（'12 CX）、「サマーレスキュー～天空の診療所～」（'12 TBS）などにレギュラー出演。

2013年前期のNHK連続テレビ小説「あまちゃん」のヒロインに、1,953名の応募者の中から大抜擢され、テレビドラマ初主演を務める。

2014年8月16日公開、映画「ホットロード」主演。

2014年12月27日公開、映画「海月姫」主演。



滝藤 賢一（たきとう けんいち）さん

1976年11月2日、愛知県生まれ。

「BULLET BALLET バレットバレエ」（'00 塚本晋也監督）で映画デビュー。

その後、映画「クライマーズ・ハイ」（'08 原田真人監督）に出演し注目を浴びる。

好評を博したドラマ「半沢直樹」（'13 TBS）では、第68回日本放送映画芸術大賞優秀助演男優賞を受賞。

また、ドラマ「俺のダンディズム」（'14 TX）にて初主演を務める。

今後は2015年10月スタートNHK土曜ドラマ「破裂」、2015年12月5日公開 映画「杉原千畝 スギハラ チウネ」（チェリン・グラック監督）、2015年12月公開予定 映画「はなちゃんのみそ汁」（阿久根知昭監督）、2016年1月30日公開 映画「残穢【ざんえ】—住んではいけない部屋—」（中村義洋監督）、2016年公開予定 映画「64-ロクヨン—前編／後編」（瀬々敬久監督）などが控えている。



高見 奈央（たかみ なお）さん

1996年11月28日、三重県生まれ。

2010年 ファッション雑誌『ラブベリー』4月号よりレギュラー出演。

2011年 アイドリング!!!5期生メンバーオーディションの最終候補に選ばれる。

2012年 ガールズユニット「ベイビーレイズ」でメジャーデビュー。

2014年 「ベイビーレイズ」として日本武道館ライブを達成し、「ベイビーレイズ JAPAN」へと改名し活動中。

## ■制作スタッフリスト

---

広告代理店	株式会社 電通
企画・制作	GLIDER
脚本	志伯 健太郎 (GLIDER)
CD/PL/C	志伯 健太郎 (GLIDER)
AD	長田 桂太 (GLIDER)
C	春原 伸也 (GLIDER)
D	高木 紳介 (たき工房)
CP	宮嶋 貴子 (GLIDER)
キャスティング	山川 勝康 (電通キャスティング・アンド・エンタテインメント)
キャスティング	若穂 雅 (電通キャスティング・アンド・エンタテインメント)
P	早坂 匡裕 (ギークピクチャーズ)
PM	長谷川 武徳 (ギークピクチャーズ)
演出	児玉 裕一 (vivision)
撮影	中原 昌哉
グラフィック撮影	伊藤 大輔 (GLIDER)
照明	森寺 テツ
美術デザイナー	笠井 亜紀
スタイリスト	杉山 まゆみ
ヘアメイク	平井 寛功
ヘアメイク	TOYO (BELLO)

### GLIDER

GLIDERは「シェアされる物語の作り手」をコンセプトに2011年に立ち上がった、あたらしいタイプのクリエイティブブティック。立ち上げメンバーは、志伯 健太郎 (クリエイティブディレクター)、西田 司 (建築家)、古田 秘馬 (プロジェクトデザイナー)、長田 桂太 (ファッションデザイナー)、大橋 マキ (アロマセラピスト) の5名。企業や自治体のクリエイティブ提案から、アート作品やイベント、ワークショップまで、ジャンルと国境を越えて幅広く活動中。

### 志伯 健太郎

クリエイティブディレクター。1975年仙台生まれ。慶應 SFC、イタリア・ローマ大学建築学科で建築デザインを学び、2000年電通入社後、クリエイティブ局配属。CDC局にて数々のCMや映像を手がける。72andSunny, Wieden+Kennedy を経て2011年、建築家、ファッションデザイナー、社会起業家、アロマセラピストからなるクリエイティブブティック GLIDER を東京と葉山に設立。国内外で培ったクリエイティブ手法と多様なアプローチで、企業や社会の多様な課題に取り組む。国内外での受賞多数。2014 ロンドン D&AD Film Advertising Crafts 部門審査員。2015 ミラノエキスポ日本館認定イベント「Peace Kitchen」共同代表。

### 児玉 裕一

映像ディレクター。1975年生まれ。東北大学理学部化学系卒業。大学在学時より仙台にて映像制作の活動を開始。卒業後、広告代理店勤務を経て独立。以後フリーのディレクターとしてCM、MVなどの演出を手掛ける。2006年「CAVIAR」に所属。2013年「vivision」設立。2007年に公開されたUNIQLOCKでは世界3大広告祭 (カンヌ・Clio・One Show) グランプリを獲得。